

学校評議員会通信

南摩中学校 R 元年度第 2 号

2月12日（水）午後、令和元年度第2回目の学校評議員会を開催いたしました。

給食試食と小中交流活動を参観していただいた他に、校長室において、今年度の学校経営の状況（学習面・生活行動面・健康体力面 等）や、特色ある学校作りなどの学校評価の重点等について、学校側からの説明をいたしました。その後、学校評議員さんから、以下のような多くの貴重な御意見をいただきました。

《学習面》

- 生徒の自己評価を見ると、平日の家庭学習(塾以外の時間)で、2時間以上できない生徒が多い。昔は学年+1時間と言われていた。これでよいのか。時間をかけて学習することが大切ではないか。
- 宿題はどのように出しているのか。「これだけはやってくるように」という課題を出すことも、学習の習慣付けになるのではないか。
- 家庭学習は、小学校からの習慣もあると思う。自宅にいて、自分なりのやり方はいろいろあるので、工夫して学習ができるとよいと思う。これは、家庭の協力が不可欠である。

《生活・行動面》

- 今まで「立腰」という言葉を聞いたことがなかった。姿勢をきちんとすることは大切だと思う。掲示などをして意識付けを行い啓発していることは、よいことだと思う。
- 「立腰」がまだできていない、という生徒の自己評価は自分に厳しいのではないか。全員できている、ということは難しいかもしれないが、大部分の生徒はきちんとできていると思う。
- スマホの使用など、時間やルールを「見える化」していくとよい。スマホを使っているので声をかけると「調べ物をしている」と言っていて、現代はスマホやインターネットは子どもにとって身近なものだと感じる。

《健康・体力面》

- 家庭での体力作りはどのようなことを行っているのか。
→水泳など習ったり、部活動のトレーニングをしたり、体力作りをしたりしている。続けることが大切である。

《その他》

- 「生徒の安全の確保」には引き続き努めてほしい。心配する声があれば、どんなことが心配なのか具体的に聞いて、安全確保の参考にするとよいのではないか。 ○小中交流など、元気よく小学生をリードしてほしい。
- 南摩中生は地域への貢献をしている。生徒が自分から進んで、更に積極的に取り組み、より充実する。
- 地域の活動に参加している子どもたちや、先生方の協力はありがたい。働き方改革の流れもあり、うまく調整してやっていただけるとよいと思う。元気で生き生きとしていることが大切である。



☆学校では、これらの御意見や御指摘について、全職員で共通理解を図り、今後の学校教育活動に取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆様の更なる御支援・御協力を、よろしくお願いいたします。

☆当日の様子を「南摩中公式ホームページ」
において、紹介しています。

学校の様子と合わせて、ぜひ御覧ください。



南摩中ホームページ

